

数学オリンピック財団から 7

世界大会で2位に！

財団理事長 小林一章

第21回アジア太平洋数学オリンピック（APMO）での成績が6月初旬に主催国の韓国から届きました。日本からの代表者10名は「財団から6」に記しましたが成績は以下の通りでした。

金賞	副島 真	筑波大学附属駒場高等学校	2年
銀賞	保坂 和宏	開成高等学校	2年
銀賞	滝間 太基	筑波大学附属駒場高等学校	2年
銅賞	檜垣 元秀	筑波大学附属駒場高等学校	2年
銅賞	原 将己	筑波大学附属駒場中学校	3年
銅賞	若月 駿	開成高等学校	2年
銅賞	石川 卓	北摂三田高等学校	2年
優秀賞	関 典史	灘高等学校	3年
優秀賞	漢那 雷惟音	栄光学園高等学校	2年
優秀賞	野山 友幸	筑波大学附属高等学校	2年

（学年は、2009年3月現在）

APMOはIMOの表彰基準とは違い、各国たかだか金賞1名、銀賞2名、銅賞4名と決められています。（金なし、銀3名とか銅6名いうことは有る。）従ってたとえ2名が満点であっても順位をつけて主催国に推薦することになっています。そこで上位国は大抵金1、銀2、銅4、優秀賞3ということになります。ただし国別順位は各選手の正確な得点の総和ということになっています。今年は参加国28カ国中、国別順位では1位韓国、2位アメリカ合衆国について3位でした。以下10位までは、4位台湾、5位タイ、6位カナダ、7位香港、8位シンガポール、9位アルゼンチン、10位オーストラリアでした。なぜか昨年参加したロシア（アジア地域）は参加しなかったようです。来年は参加を表明しています。今年7月のプレーメンでの年次総会で日本が次期主催国になることが決定されました。（3年間）

来年2010年3月から3回日本がAPMOの主催ということです。

次に7月14日から21日までドイツのプレーメンで第50回国際数学オリンピック（IMO）が開かれ、国別では過去最高の堂々2位でした。各代表選手の成績は次のとおりです。

金メダル	副島 真	筑波大学附属駒場高等学校	3年
金メダル	岸川 滉央	久留米大学附設高等学校	2年
金メダル	保坂 和宏	開成高等学校	3年

金メダル	滝間 太基	筑波大学附属駒場高等学校	3年
金メダル	今村 志郎	灘高等学校	3年
銅メダル	石川 卓	北摂三田高等学校	3年

IMO での上位 10 カ国は次のとおりです。1 位 中国, 2 位 日本, 3 位 ロシア, 4 位 韓国, 5 位 北朝鮮, 6 位 アメリカ合衆国, 7 位 タイ, 8 位 トルコ, 9 位 ドイツ, 10 位 ベラルーシ です。ここの処アジアの各国がだいぶ上位に入るようになって来ました。日本の今年の大活躍はもちろん各選手の健闘によるところですが、客観的なデータとしては代表 6 名中 5 名が高校 3 年生で (第 33 回 (1992) モスクワ大会では 6 名全員が 3 年生で国別順位 8 位, 当時の日本としてはダントツの成績で 2004 年ギリシャ大会までの最高位), また前年の日本代表 6 名中 4 名が今年代表 6 名に含まれていて (これも, やはり 33 回大会以来 2 度目), データ上でも最強のチームであったことがわかります。更に一昨年 (2017) の 6 位から, 昨年 (2018) 11 位と順位を大きく落とした事の反省もあり, 今年は直前学習会を出発直前に一泊二日で行いました。このような短期間で選手の実力が上がるとは思いませんが, 今まで, 春合宿の結果, 日本代表に選ばれた選手達が一堂に会するのは出発当日の成田空港ということに比べると選手達の心の準備が整うという効果はあったのではないかと思っています。

次に 8 月 23 日から 29 日まで山梨県清里で恒例の数オリ夏季セミナーが行われ, 中高生 35 名, チューター延べ 17 名が参加して行われました。これは選抜というプレッシャーから離れ, 数学オリンピックの先にある数学とはどのようなものかをセミナーを行いながら, 楽しんでもらうというものです。今年も数学のいろいろな分野からテキストが選ばれ, 9 つのセミナーが行われました。また大学の先生 3 名を招待し, 各々が各 3 時間でとても興味ある講義を行っていただきました。今年は新型インフルエンザのこともあり, セミナー開催中に, もしインフルエンザが発生したら, その時点で中止を覚悟しながらの開催でしたが幸いなことに参加予定者で罹患する生徒もおらず, 全員参加で, また途中発生することもなく無事終える事も出来ました。これは参加者全員と宿の方々の協力が大きかったと思っています。以前はこの夏季セミナーは毎年場所を変えて行ってきましたが, 総勢 50 名を超えるようになって来ると収容施設も限られてきて, 今年で 3 回目の清里「ヴィラ千ヶ滝」での開催となりました。「ヴィラ千ヶ滝」の方でも一年前に仮予約を入れると喜んでくれてだんだん宿泊施設のみならずセミナー設備も充実してくださるようになり, 一つのセミナーにつき, 中型の白版が 2 つ以上付き, 九つのセミナーが出来る施設にはそうないという状況になっています。

以上が国内選抜, 日本代表決定以後の活動及び結果報告ですが, いよいよ APMO の主催国となったため出題体制と採点体制を今まで以上に強化する必要が生じてきました。